

### 深井 真紀 さん

由利本荘市谷地町95(ざっかや にこり)  
TEL.080-2820-8740  
http://zakkaya-nikori.com  
https://www.instagram.com/zakkaya.nikori/



《イベント出展》※詳細は「にこり」まで  
お問い合わせください。

- 6/10 由利本荘市西目公民館シーガル
- 6/17 こすもす由利本荘ホール
- 6/22～24 秋田ふるさと村



左から  
アイトリ、にこりいず、デカエル



でかにゃん

ほのぼのと、にっこりと

笑っている？ 歌っている？ 言葉をつぶやいている？ 見るほどに想像をかき立てる個性豊かな表情。手作りなのでどれ一つとして同じ顔、形はない。ころんと丸い作品の名は『にこりいず』。「見る人を和ませたい、笑顔にしたい」と7年ほど前から作っている。年々シリーズは増え、『でかにゃん』『アイトリ』『アカエル』も誕生した。

由利本荘市内に構える工房兼雑貨店には、たくさんの『にこりいず』がずらり。工房は店舗の奥。陶芸用の土を手でこねて成形して、一体一体の顔を描いていく。「目や口を閉じるか開けるか、どんな表情にするかは、その日の気分次第。だから顔も形も色も作るたびに変わります」。顔と形ができたら乾燥、素焼き、釉薬かけ、本焼き、検品を経て完成。「手に取った人がくすすと笑ってくれたり、喜んでくれた時が一番うれしい。ものづくりや表現を通して人を笑顔にする、幸せにすることが私の使命だと思います」

こう迷いなく話すが、陶芸の道に進むことは想定外だった。18歳で中国に半年間留学し、現地で3年間会社勤めを経験。帰国後にガラス工芸に興味を持ち、秋田公立美術工芸短大(現美術大学)に入学した。しかし、定員の関係でやむなく陶芸コースへ。ろくろの作業が苦手だったことから陶芸を始めて間もなく考え出した手びねりの『にこりいず』が代表作になった。土の質感や表現の面白さに触れ、工房を構えるまで魅了された陶芸の世界。より活動の幅を広げたいと昨年末から器作りにも挑戦する。さらに今年から北海道や静岡など県外のイベントにも積極的に参加して、笑顔の輪を拡大中だ。